



工事タイムス

—鐵道工事—

- 東京市營** の地下高速鐵道は目下工費起償に關し全く見當がつかぬので、大倉土木會社、東京地下鐵道會社等では早くも之れが共同經營の運動を開始してゐる由。
- 東京地下鐵道** 會社の第一期線上野淺草間1哩5分の建設工事は本年9月末完成10月初旬開通の見込み立ち、既に第二期線上野萬世橋間1哩3分の建設に着手した、停留場は末廣、萬世橋の二ヶ所で萬世橋驛は現在の省線驛に連絡し須田町交叉點附近に出入口を設ける、尙萬世橋下は市土木局橋梁課が35萬圓を以て請負ひ現在の10間幅を20間幅に改め替へる事になつたが、此の第二期線工事は大林組、大倉組清水組の三社が競争入札の結果大林組に落札し1哩當り300萬圓で請負ふ事に決した、之を第一期線工事費1哩當り400萬圓に比し實に100萬圓の開きがあり、會社の建設費がそれだけ安いわけである。
- 目白驛** は近く改築工事に取りかゝる筈だが、本屋は現在の位置に平屋建とし、特に小荷物取扱口、改札口、階段等を擴張する由。
- 地方鐵道** の敷設に對し八日付指令免許を受けたものは、1. 筑藏登山鐵道(徳島縣三好郡筑藏村内零哩25チエン)、2. 境鐵道(鳥取縣西伯郡餘子村同縣同郡渡村間5哩60チエン) 3. 揖斐川電氣(岐阜縣安八郡神戶町同縣揖斐郡大野村間4哩) 4. 水波電氣(富山縣射水郡新湊町同縣東礪波郡若村間11哩56チエン) 5. 相武電鐵(神奈川縣高座郡大野村同縣橋樹郡高津間16哩50チエン) 6. 相武電鐵(同田名村同縣愛甲郡愛川村間3哩40チエン) 7. 關東鋼

- 索(群馬縣群馬郡伊香保町地内1哩20チエン)
- 丹那隧道** 同隧道の今日までの工事過程は、東口掘進9335尺西口7800尺合計16835尺殘餘8779尺である。
- 市外電車** 東京郊外の交通機關新設認可申請中のものゝ中、府知事から市の意向を徴し來つた京王電軌、下總急行電鐵、澁谷電軌の三會社に對し許可される様市當局は回答した。

—建築工事—

- 室内省** では諒閣後 皇太后御永住地とし、陛下の御内意に依つて豫算60萬圓で青山御所西北の權田原近くに建坪御庭等で約600坪の地へ純日本式の新御殿を造營相成る由。
- 皇后陛下** の御思召で出來た青い眼のお人形のお家は、延坪37坪6合の家を5分の1の模形にしたもので、總檜作り、見事なもの。
- 日本インターナショナル** 建築會發會式は7月2日京都四條通り万葉軒で舉行した、この設立に際しメンデルゾーン(獨)ユルビシエ(佛)ピーターベレンス(英)タウト(奥)氏等の各國有名な建築家は會員又は顧問たるべく通知を發した由。
- 市政調査會館** 前内閣政策上の犠牲となり、昨年5月來工事中止命令を喰つてゐた日比谷公園の同會館も今回政友内閣の出現で丸1ヶ年目にヤツト建築工事を復活する事となつた。
- 震災記念堂** 本所被服廠跡の同堂は寄附金も漸く纏り設計も成つたので、工費75萬5千圓で純日本式の耐火耐震構造で11月から起工。
- 基督教青年會** 東京神田美土代町の同會體育館がこの程竣功した、總工費20萬圓で鐵筋3階建、建坪230坪餘、最新設備の堂々たるもの。
- 全國礦石化** の第1歩とし JOAK では愛宕山放送所の隣接地青松寺所有地600坪に大スタジオを建設する事になり、目下日本放送協會から逓信省へ出願中、工費13萬圓の鐵筋三階建と云ふ素晴らしいものゝ由。
- 運動王國** 早大では西武電鐵上保谷驛西方3萬坪へ工費40萬圓を以て近く綜合グラウンドを設けるが、野球場、テニスコート、ラグビー、ホッケー、1周400米の陸上競技場、50米のプール、體育會のクラブハウス等を含むもので、今秋着工。
- 復興區役所** 東京市の復興區役所は淺草の四階樓を除き他は地階建の市民本位のものにする由で、牛

込、赤坂、本郷等復興麻布、小石川、四谷三區役所の他は全部設計済み工事に着手。

○復興建築 東京市で耐震耐火の建物に復興さるべき總延坪は約200萬坪で、内大正13年以降4ケ年間に復興せるもの僅か2萬坪に過ぎなかつたが、最近材料手間の低下と政府助成金が來年限りなるとで建築界稍々活氣づいて來た。

○帝國圖書館 は來年3月竣工し約1300名の人員を收容出来るが、更に本年度は160萬圓で外廓よりも内容の改善に當てる由。

○川崎銀行 7月1日から開店した同行は、四階建鐵筋混凝土造り總延坪1,129坪、各室の設備裝置も壯美を極め、外觀またルネッサンス式の一偉觀。

○横須賀 海軍工廠の本建築工事完了7月3日移轉した、新廳舎は鐵筋混凝土2階建耐震耐火に最も重きを置いた近代的の建物で工費約16萬圓。

○文化兵營 麻生三聯隊は來年7月迄に工費約300萬圓で鐵筋混凝土四階建延坪9千坪、地下室は大浴場一階炊事場二階寢室三階は電化食堂として1500名一個聯隊が一度に食事の出来る壯大なものに改築する由。

○上野公園 は愈々市が近く動物園を中心に博物館前一帶その他附近の大改造に着手する事になった、來年3月完成の見込み。

○溫故學會館 檢校塙保己一翁が一代の苦心拾収に成る貴重な群書類従等の原本を保存すべく昨年來下澁谷水川神社裏敷地に約4萬圓で工事中の同館並に倉庫は今春3月竣工し7月2日落成式を舉行。

○聯盟館建築 國際聯盟が先に全世界の聯盟加入國建築家に對し同館建築設計圖案の懸賞募集をなしたるが目下嚴選中である。

○東京驛前の地下室工事 は目下35尺も掘下げてるが、この地下室には約100坪の大浴場や、男女理髮室、ホール等が出来る、その骨組だけで工費10萬圓、完成は今年中。

— 港 灣 工 事 —

○重要漁港 に連絡鐵道を敷設し漁港としての目的を達したいと過般農林省は鐵道省に交渉した所、鐵道省も公共の利益に合致すれば之が敷設に異存なき模様である、従つて之れに依り水産物運輸上に新生面が開かれる。

○濱濱港第三期計畫 内務省横濱土木出張所に於て施行せる濱濱港第三期擴張計畫中將來内國貿易に充

てる山内、表高島兩町の埋築工事は豫定の進捗を見て居るので市は之れが陸上設備に關し夫々研究を重ねて居る由。

○港灣法制定 現内閣は土木事業の諸施設に重きを置き、明年度豫算編成に當つては、大いに新施設を成さんとしてゐるが、之れが前提として港灣法の制定を見るに至つた。

○關門海底 隧道工事として目下海中30米のボーリング作業に使用しつゝある浮足場は世界最大のもので、高さ40呎縦43呎の鐵筋混凝土製臺盤に直径高さ各16呎の圓筒形空氣タンク(353噸の浮揚力)4個が据へてある。(次號詳報)

○京濱運河 實現促進を期する爲め、海陸懇話會では先般會合商議の結果、官營民營何れにても一日も早く實現を望むと云ふ趣旨の建議案を起草して政府當局へ提出する筈。

○東京市 が大正8年來着工せる隅田川河口改良工事に關し、内務當局では同事業の遂行を助成する意向で昭和3年度以降に要する經費1,267萬圓の三分の一の國庫補助金を交付する事になり明年度豫算に計上するため近く閣議に提出する。

○本邦最大の浚渫船 石狩川治水事務所が約70萬圓で建造せるポンプ式浚渫船昭和號は乗船人員25名船體の長さ110呎最大巾34呎深さ10呎吃水5呎吐水管の全長3千呎全揚程30呎浚渫の深さ30呎1500馬力パーソン式タービンを有し1時間の浚渫量50立方1坪時間消費石炭1噸半。

— 河 川 工 事 —

○信濃川大河津 分水堰が6月24日移動し水田5萬町歩及び新潟市水道に甚大な影響を及した、此の復舊工事に要する經費80萬圓を内務省では鈴木内相より閣議に於て責任支出の要求をした。

○目黒川の改修 府下目黒町の政友派町會議員と町民と依り成る目黒會では、過般目黒川改修速進を期する爲め協議の結果、町議より町會に提案し、町會の決議を理事より府へ申達する由。

○鶴見川改修 工事に着手せんとした神奈川縣では同川が既に一不良外人に欺かれ改修許可を與へて居る事が判り、行政處分て取消さんとしたが、本人は行衛を晦し利権は他に賣却されてゐる仕未で、縣當局は目下途方に暮れて居ると報ぜらる。

○内務省 では治水及産業發展上今後直轄改修河川の上流及支派流に對し、地方に於て改良工事をなす

場合 2分の1の國庫支出をなすべく明年度豫算編成に際しては特に重要案件として閣議に提出する筈。

○**流域砂防工事** 神奈川県では20年計畫 380萬圓を以て縣下各流域の砂防工事を遂行することになり、先づ早川流域の工事に着手した。

○**京都府** 臨時治水交通調査委員會特別委員は、6月28日第2號國道を視察し、目下工事中の經費 650萬圓、延長2里半の神明國道を視察した。

—道路工事—

○**四間道路舗装** 東京市牧土木局長は山ノ手方面の四間道路20萬坪を950萬圓で來年度より向ふ4ヶ年事業として舗装する事に決心し明年度豫算編成に際しては極力その通過を圖ると。

○**内務省新計畫** 内務省都都市計畫課では都市計畫法を施行しつゝある全國70餘都市の街路費に對し工費の3分の1を補助すべき案を樹てた、之に依れば補助總額4600萬圓、昭和2年度以降10ヶ年支出といふ大袈裟なもの。

○**帝都の道路** 市民の保健衛生上から市土木局では先般來、舗装道路の夏期大掃除と共に之れに通ずる全道路のマガタム舗装工事を急いでゐる。

○**大阪市都市計畫** 長堀線の内、末吉橋から上本町二丁目迄の路面擴張工事は此の程完成した。

○**大阪市で** 久しく工事中だつた都市計畫北野線はこのほど大體竣工し、今は中央軌道工事の一部を残すのみ。

○**大阪市** の都市計畫事業としての天神橋西筋線がこんど完成した、大阪の幹線道路の一つである。

○**道路網完成** 神奈川県下の道路復興事業は横須賀市を除く他は殆んど完了した、本縣の道路政策は愈々大道路網完成へと歩みを進める筈。

○**大阪市の交通難** に對し關市長は、交通整理政策上より高層大建築物法の制限も必要であるが、要するに金の問題であると言ひ、瀧山都市計畫次長は、之れが實際に當つては實にむづかしい、鋭意工事は急いでゐると言ひ、小林交通係長は、道路に伴ふ危険を如何に防止すればよいか自分達の仕事で工事方面は先づ適法であると語り、奥村土木課長は、交通難の悩みは近代都市の通性で敢へて大阪にのみ限らぬと言つた。

○**多摩御陵** 東京府では多摩御陵に通ずる國道新淺川驛よりの參道を現在の7間幅より兩側へ2間づゝ擴張し歩道に街路樹を植え込む筈、完成は今年12月

中旬頃。

—橋梁工事—

○**東洋一の釣橋** 徳島縣三好郡を流るゝ吉野川に今回架けられた三好橋は實に東洋第一の釣橋で、この開通式が6月12日武藤政務次官、三邊知事その他多數名士列席のもとに盛大に舉行せられた。

○**駒形橋** は此の程完成した、大正13年起工まる3年で竣工、橋長149米5、幅22米總工費165萬圓、これに要した作業延人員約10萬人。

○**隅田川鐵道橋** 日本最初の試みとし多大の興味を以て迎へられて居た常盤線隅田川鐵道橋架替へは6月12日午前零時18分下り805號貨物列車の通過を待つて數百の工夫は汽笛一齊作業にかゝり僅2時間で全く完成した。(次號詳報)

○**多摩上流** 丸子の渡附近に今回東京、神奈川兩縣の共同事業として架橋する事に内定、橋の延長400間幅6間位で工事費約90萬圓の内、30萬は政府の補助に依り殘餘は15萬圓宛兩縣で分擔の豫定。

—人事—

○**小川鐵道大臣** 歡迎午餐會が六月二十五日有樂町一ノ一の帝國鐵道協會主催で催された參會者300餘名、國澤會長の挨拶に次ぎ小川平吉氏の簡單なる答辭があつた、當日鐵道者側の來賓は鐵相初め八田次官、中村建設局長、加賀山工務局長其他各局課長等であつた。

○**谷口三郎** 内務技師の同氏は六月二十八日東京ステーションホテルの土木學會第四十八回講演會で『南米ブラジル旅行談』をなし、世界第一のアマゾン河の一部流域其他の調査を映畫及び寫眞圖等にて講演された。

○**牧野雅樂之丞** 内務技師の同氏は高等官二等に叙せられ復興局技師に任ぜらる、(七月十九日)

○**重見禎三** 鐵道局技師の同氏は門司鐵道局工作課長を命ぜらる。

○**小河原藤吉** 鐵道局技師の同氏は門司鐵道局小倉工場長を命ぜらる。

○**向笠金吾** 鐵道局技師の同氏は神戸鐵道局勤務を命ぜらる。

○**崎山律** 鐵道局技師の同氏は東京鐵道局勤務を命ぜらる。(以上六月二日鐵道省)

○**伊藤孝治** 鐵道省工事課勤務中なりし氏は二十年間の鐵道省建設工事生活を終へて先般請負業西本組東京出張所へ勤務するに至つた。